

《鎌倉仏の寺を訪ねる》

暦も秋の10月となったのに、少々暑い日差しの中でしたが、鎌倉散策でいつもお世話になっている大貫昭彦先生のご案内で、北鎌倉から西御門の来迎寺まで鎌倉仏を拝観しながら巡ってきました。
＜実施日 令和元年10月1日（火）参加者 19名＞



《北鎌倉・山之内・JR 横須賀線の線路わき》

この辺りは鎌倉で山之内という地域で、平安時代の藤原氏から鎌倉時代の北条氏源頼朝などの関わりのある場所です。その解説を聴いているそばを、横須賀線の電車がけたたましく走行していきました。



《円応寺の仏堂で、大貫先生の解説を聞く》

開山の歴史、寺宝についての解説を聞き、寺宝の十王像などじっくりと拝観しました。中でも閻魔王の像は迫力満点でした。



《建長寺の境内で》

正面の黄金色の装飾のある門は、正保4年（1647年）増上寺から移築されたもので、桃山風建築で、国重文です。朝廷からの勅使を迎える時だけ開かれるので、勅使門と呼ばれている由。



《建長寺・方丈裏で》

方丈に上がらせていただき、回廊を一巡り、池・庭園を眺める。
この蕪碧池を中心とする庭園は、開山大覚禅師（蘭溪道隆）の作庭で、創建当時よりある由。このような詳しい解説を大貫先生から伺いました。



2019/10/01

《西御門の里見弾旧邸》

この建物は、大正 15 年に作家里見弾の住宅として、自ら設計に携わり建築されたものです。建築家ライトの造形を、鎌倉にいち早く取り入れた建物で閑静な住宅地の中、きわめて印象的な外観を持つ貴重な建物です。

現在は公開されていない由で、茶室を道路から垣根越しに見ました。



2019/10/01

《西御門の来迎寺にて》

今日のコースの最終、来迎寺でお堂に上げていただき、本尊、阿弥陀如来坐像のほか客仏、三像について解説を聴きました。

最後に、参加者にこやかに「ハイチーズ」・・・・

本稿作成と撮影の「わたし」は写っていません。残念・・・